

市町村名	豊田市	窓口	おやか応援課
住所	〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地		
電話	0565-34-6636	FAX	0565-32-2098
E-mail	oyakooen@city.toyota.aichi.jp	URL	http://www.city.toyota.aichi.jp/index.html
【周産期医療機関へのPRコメント】			
母子手帳交付			
場所	豊田市役所おやか応援課		
交付方法	窓口にて随時交付		
スタッフ職種	保健師・助産師		
→保健師以外の場合の気 になるケースへの対応	保健師と育児支援専門員が面接を実施。		
市町村独自アンケート	愛知県統一の項目に加えて、豊田市独自の項目を6項目実施		
内容・特徴	利用者支援事業（母子保健型）として、母子健康手帳交付時に全ての妊婦と面接を実施し、ケアプラン（支援方針）を立案している。ケアプランに基づいて産科医療機関との連携を図るとともに、保健師・助産師や育児支援専門員による、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実施している。		
子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）			
④（母子保健型・基本型・特定型） ・ 無			
名称	利用者支援事業（こども家庭センター型）		
場所	おやか応援課・こども相談課		
スタッフ職種	ママサポーター（専任コーディネーター）・保健師等		
内容・特徴	母子健康手帳交付の際、妊婦全員にアンケートと面接を実施。チェック項目（予想外の妊娠、若年・高齢出産や支援の有無、困りごとの有無等）に該当する場合は状況を詳しく聞き取る。聞き取りの結果、支援を要すると判断される事例については、家庭児童相談室担当の育児支援専門員、又は地区担当保健師につなぎ、支援介入する。さらに必要に応じて関係機関と調整を図る。		
こども家庭センター			
④ ・ 無（設置予定時期）			
名称	豊田市こども家庭センター		
場所	こども相談課内		
スタッフ職種	保健師 助産師 育児支援専門員 家庭相談員 事務職他		
内容・特長	従来の「子育て世代包括支援センター」と「こども家庭総合支援拠点」を1つにし、全ての妊産婦、子育て世帯へ一体的な相談支援を行うため、母子保健機能と児童福祉一元化し設置。		
パパママ教室・両親学級等			
名称	パパママ教室～1st マタニティ～（おやか応援課）	2nd マタニティ教室～2人目からの子育て～（おやか応援課）	
時期・回数	月1回	年6回	

会場	豊田市保健センター	豊田市保健センター
対象者	妊婦とその夫	2人目以降出産予定の妊婦とその家族
スタッフ職種	保健師 管理栄養士 薬剤師	保健師・保育士
申込み方法	インターネット	インターネット
内容・特徴	妊娠出産に関する正しい知識を普及し、胎児への愛着形成を促すとともに、妊娠期から父親の育児参加を促し、身体的・精神的に安定した妊娠・出産・育児期を迎えられるよう、子育てについて両親で学ぶ。 就労している方にも参加しやすいように、土曜日にも開催している。	2人目以降出産予定の妊婦とその家族に対し、上の子へのかかわり方、赤ちゃん返りへの対応について学ぶ。 託児は設けていないが、きょうだい児の同行も可能。
ハイリスク者向け事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG等）		
名称	多胎パパママ教室（おやこ応援課）	
時期・回数	年4回	
会場	豊田市保健センター	
対象者	多胎妊婦とその家族等	
スタッフ職種	保健師、助産師（地域周産期母子医療センター等）、多胎育児経験者（自主グループ参加者等）	
申込み方法	窓口、電話、FAX、メール、インターネット	
内容・特徴	多胎妊婦やその家族が正しい知識を獲得し、多胎妊娠に伴う妊婦の不安や負担について、周囲の支援者が共有し、多胎特有の課題の対処方法を経験者から学び、多胎児親の会とつながれるよう支援する。	
ママの子育てを支援する会		
名称	ママの子育てを支援する会（こども相談課）	
時期・回数	月2回	
会場	豊田市保健センター	
対象者	イライラして子どもに暴言や暴力を振るったり、子どもに愛着が持てないなど、育児不安や虐待に係る相談のある保護者	
スタッフ職種	家庭相談員、育児支援専門員、主任児童委員	
マタニティサロン・広場等		
名称		
時期・回数		
会場		
対象者		
スタッフ職種		
申込み方法		
内容・特徴		

産前産後サポート事業／産後ケア事業				
名称	産後ケア事業（おやこ応援課）			
会場	医療機関・助産院・事業所・自宅等			
対象者	市内に住所を有する出産後１年未満の乳児及びその保護者等であって、産後ケアを必要とする者			
スタッフ職種	助産師（保健師・看護師）、管理栄養士			
利用方法	豊田市おやこ応援課窓口又はあいち電子システムにて事前申請を行う。			
内容・特徴	指定の施設での宿泊や通所又は訪問で、授乳指導や育児支援などが受けられる。			
産前・産後ヘルパー				
名称	産前産後支援事業			
時期・回数	６０時間（多胎は１８０時間）			
場所	市内			
対象者	母子健康手帳が交付された妊婦がいる家庭 １歳未満（多胎は３歳未満）の子どもがいる家庭			
スタッフ職種	事業所ヘルパー			
利用方法	豊田市おやこ応援課窓口又はあいち電子システムにて事前申請を行う。 利用決定通知書が届き次第各自で事業所に電話で支援を依頼			
内容・特徴	簡単な家事援助、育児等 １時間当たり８００円			
養育支援訪問事業				
専門的相談支援				
対象者	・妊娠や子育てに不安を持ち、支援を希望する家庭 ・若年の妊婦、妊婦健康診査未受診及び望まない妊娠等、妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭 ・出産後間もない時期（概ね１年程度）の養育者が、育児ストレス、産後うつ状態、育児ノイローゼ等の問題によって強い不安や孤立感を抱える家庭 ・食事・衣服・生活環境等について不適切な養育状態にある家庭など虐待の恐れやリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭 ・公的な支援につながっていない児童（乳幼児健康診査等の谷間にある児童、３歳～５歳児で保育所、幼稚園等に通っていない児童）のいる支援を必要とする家庭 ・その他市長が必要と認める家庭			
スタッフ職種	保健師・助産師			
里帰り先への訪問	可能			
申込み方法	電話・窓口（こども相談課）			
内容・特徴	訪問による健康・育児相談、授乳指導等			
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは赤ちゃん訪問
対象者	市内在住・里帰り中の妊婦	市内在住・里帰り中の母子	体重２，５００ｇ未満で生まれた児	市内に住所を有する概ね生後１

				～3か月児がいる家庭
時期	随時	随時	随時	概ね生後1～3か月
家族からの申し込み方法	電話・窓口	電話・窓口	電話・窓口・電子等による低体重児出生届	不要
医療機関からの依頼方法	本人の同意のもと電話又は母子連絡票	本人の同意のもと電話又は母子連絡票	本人の同意のもと電話又は母子連絡票	実施していない
スタッフ職種	保健師・助産師	保健師・助産師	保健師・助産師	保健師、助産師、看護師
里帰り先への訪問	可能	可能	可能	実施していない
内容	出産や育児に向けた相談・支援	健康・育児相談、授乳指導等の支援	健康・育児相談、授乳指導等の支援	産婦の健康状態、乳児の発達確認と健康・育児相談・支援

育児相談

名称	オンライン育児健康相談	育児健康相談
時期・回数	月1回（第3火）	随時（来所・電話）
会場	こども相談課、各家庭	こども相談課
対象者	乳幼児とその保護者	乳幼児とその保護者
スタッフ職種	保健師・管理栄養士・助産師	保健師・助産師
申込み方法	こども相談課へ電話・メール・豊田市公式アカウントから予約	こども相談課へ電話（来所は要予約）
内容・特徴	・妊娠中や出産後の生活・授乳・栄養・発達・子育てに関すること ・Zoomを使用したオンラインでの相談	妊娠中や出産後の生活・授乳・発達・子育てに関すること

3、4か月児健診

他の乳幼児健診

名称	3、4か月児健康診査	1歳6か月児健康診査	3歳児健康診査
方法	集団方式	集団方式	集団方式
時期・回数	毎月4回	毎月5回	毎月5回
会場	豊田市保健センター	豊田市保健センター	豊田市保健センター
対象者	3か月～6か月未満	1歳6か月～2歳児未満の児	3歳5か月～4歳児未満の児
スタッフ職種	保健師・看護師・助産師・医師・管理栄養士・母子保健推進員	保健師・心理士・看護師・医師・歯科医師・歯科衛生士・保育士・管理栄養士・母子保健推進員	保健師・心理士・看護師・医師・歯科医師・歯科衛生士・保育士・母子保健推進員

申込み方法	インターネットにて事前予約	インターネットにて事前予約	インターネットにて事前予約	
周知方法	個人通知、ホームページ	個人通知、ホームページ	個人通知、ホームページ	
内容・特徴	問診、計測、診察、育児相談、離乳食の話（希望者のみ）	問診、計測、内科診察、歯科診察、育児相談、栄養相談（希望者・対象者）	問診、計測、内科診察、歯科診察、屈折検査、視力検査、聴力検査、育児相談、	
離乳食教室・子育て教室等				
名称	離乳食教室（おやこ応援課）	ふれあい子育て教室（おやこ応援課）	離乳食・幼児食教室（健康づくり応援課）	楽しく子育て♪教室（こども相談課）
方法	個別（希望者）	保健師の話とふれあい遊び	管理栄養士が会場へ出向き教育・相談を実施	保健師が会場へ出向き教育・相談を実施
時期・回数	3、4か月児健康診査と同日程	年8回	(1)随時・各グループ年1回 (2)子育て支援センター（16施設）最大年2回	随時・各グループ年1回
会場	3、4か月児健康診査と同会場	保健センター	(1)申込者が手配（市内に限る） (2)子育て支援センター	申込者が手配（市内に限る）
対象者	3、4か月児の親	生後10か月～1歳までの児とその親	(1)市内の10組以上で構成されたグループ (2)市内在住の乳幼児とその保護者	市内の10組以上で構成されたグループ
スタッフ職種	管理栄養士	保健師 保育士	管理栄養士	保健師
申込み方法	3、4か月児健康診査時に随時	インターネット	(1)申請書を健康づくり応援課へ提出 (2)各子育て支援センターへ電子予約	申請書をこども相談課へ提出
内容・特徴	離乳食の進め方、調理法等に関する相談	1歳児に必要なかわりの話とふれあい遊び	離乳食の進め方、栄養、調理法に関する教育や相談	子育てのポイント等に関する教育や相談
5歳児健診				
有 ・ 開始予定 （ 年度） ・ ㊟				
名称				
方法				
時期・回数				
対象				
健診事後教室等				
名称	にこにこ広場			

方法	親子遊び、個別相談
場所	豊田市保健センター
対象者	育児や発達について支援が必要なおおむね1歳6か月までの児とその養育者
スタッフ職種	保健師・臨床心理士・保育士・管理栄養士
利用方法	3、4か月児健康診査等で勧奨
内容・特徴	目的：養育環境の改善、育児不安感や育児負担感の軽減、愛着形成および児の発育発達を促すこと。 実施回数：月1回
電話相談	
担当部署	こども相談課、地域包括ケア企画課
名称	とよた急病・子育てコール24～育救（いっきゅう）さんコール～
曜日・時間	24時間365日対応
電話番号	0120-799-192
対象者	豊田市民、豊田市にいる方（豊田市訪問者）
スタッフ職種	専門スタッフ
内容・特徴	子育て（食事、ことば、しつけなど）、健康、妊娠、出産に関する相談
思春期保健に関する事業	
名称	こころとからだの性教育
時期・回数	学校と調整した日程
対象者	中学生3年生（主に）
スタッフ職種	保健師・助産師
申込み方法	学校に募集し依頼をもらう
内容・特徴	命の尊さや親になることの意味をこれから親になる若い人への知識の普及・啓発として 「性教育：自分の体と心を知る」を実施している。